



さくら会 だより

*さくら会のマーク

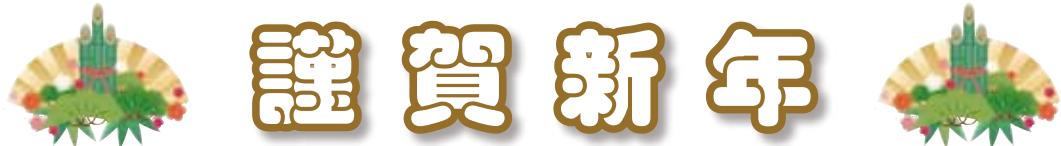
重なりあう花びらは、人と人との互いに尊重し、理解を深め合う利用者とさくら会とのより良い関係づくりを象徴しています。

第54号 2020年1月発行 社会福祉法人 さくら会

〒140-0013 品川区南大井5-19-1

☎(03)5753-3900(代)・FAX(03)5753-3955

ホームページ：<http://www.sakurakai.jp/>



社会福祉法人 さくら会
理事長 前田 武昭

皆様には希望に満ちた新年をお健やかにお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は一方ならぬご厚情を賜り、誠にありがとうございました。おかげさまで、南大井・西五反田・大井林町の3つの高齢者複合施設等での事業運営を無事行なうことができました。

さて、さくら会は2000年（平成12年）に区内初の介護老人保健施設を中核とする高齢者保健福祉複合施設を南大井の地に開設して以来、品川区をはじめ多くの皆様のご支援のもと順調な歩みを進め、本年3月で満20周年を迎えます。

私どもさくら会は、これからもご利用者と地域の皆様に愛され、選ばれる社会福祉法人であり続けるために、専門多職種が一丸となつてご高齢者お一人おひとりの地域での生活を支える努力を続けてまいります。



区内一斉防災訓練

昨年12月7日（土）、品川区内一斉防災訓練が行われました。さくら会本部や月見橋在宅サービスセンターのある大井水神町会、鈴ヶ森町会の訓練実施場所である鈴ヶ森小学校には各町会から多く



介護老人保健施設ケアセンター南大井
令和元年度東京都特定給食施設等
栄養改善知事賞受賞



東京都は毎年、優良な特定給食施設に対し、給食施設の水準の向上及び公衆衛生の増進を図ることを目的に、東京都特定給食施設等栄養改善知事賞を授与しています。

この度、ケアセンター南大井が受賞しました。当法人の給食はケアセンター南大井を含め、日清医療食品㈱に委託しております。委託側と受託側が日々連携協力し、安全で安心な美味しい食事をご利用者の皆様に召し上がって頂けるよう今後も努力してまいります。

くの方々がお集まりになり、加えて今年は、2年に一度の鈴ヶ森小学校の児童引き取り訓練との同時開催とのことで、児童の皆さん、父兄の方々もお集まりでした。

月見橋在宅サービスセンターから、区民消火隊である職員1名が参加しました。小学校内に配置されている防災備蓄品や水がなくても使用できるトイレ設備等の見学をしたほか、スマートフォン充電用の蓄電池の操作を見学しました。最大約300台分のスマートフォンの充電ができるスマートフォンです。区民消火隊の可搬消防ポンプによる放水は悪天候のため中止となりましたが、防災意識を高めるとともに、地域の皆様の防災意識の高さを再認識できる機会となりました。



かかりつけ医と施設医、薬剤師、職員が連携を取り、施設内での減薬に取り組み、入居者お一人お一人の薬剤処方の適正化を目指しています。また施設と在宅で、その方の身体状態を共有し、薬剤処方の適正化についての意識が、ご本人、ご家族、地域に拡がるよう発信していきたいと思います。

『ポリファーマシーへの取り組み』 介護老人保健施設ケアセンター南大井入所

ポリファーマシーとは、多剤併用によって薬剤有害事象（薬剤服用後に意図しない悪影響）が起きる状態のことです。

統計から、6種類以上の処方が特に薬物有害事象の発生増加に関連したという報告があります。薬剤数のみでなく、状態を確認しながら、処方の見直しや減薬に取り組むことが大切です。24時間、ご利用者の生活を支える老健は、食事、排泄、睡眠、活動という多面から薬剤影響を評価できる場所としての役割を担っています。そのため、「かかりつけ医連携薬剤調整加算」があります。



田坂施設長と薬局薬剤師との薬剤調整場面

さくら食堂開催

さくら会食堂の食事を召し上がってみませんか？



昨日の月28日（土）、「さくら食堂」と題し、さくら会のお食事をご家族と一緒に利用者と一緒に召し上がっていただく機会を設けました。当日は一階の談話コーナーにて、事前に申し込みをいただいた6家族9名の方が、和やかな雰囲気の中で、ご利用者とともに楽しそうにお食事をされていました。入所中、外食をすることがほとんどないご利用者にとっても、いつもとは違った雰囲気の中で、ご家族とゆっくりと会話をしながら食事をすることができ、多くの笑みが見られていきました。

《ヘルパーステーション》

私達さくら会ヘルパーステーションでは、南大井・東大井・勝島にお住まいのご利用者を中心に、その方々のご自宅を訪問し、身体介護や生活援助といった訪問介護のサービスを提供しています。

訪問介護は、施設サービスと異なり、ご利用者のお宅に訪問介護員が伺うため、1対1のサービスとなります。その分、ご利用者の皆様の心身の状況に応じた、きめ細やかな対応ができることが特徴となります。



在宅を支える訪問3部門

《訪問看護ステーション》

「病気や障害があつても、住み慣れた家で過ごしたい」「人生の最期を自宅で迎えたい」と望まれる方が増えています。しかし、「家族だけで介護や医療ケアができる?」「一人暮らしだけど大丈夫?」といった不安を覚える方もいるでしょう。そんな



《訪問リハビリステーション》

日常生活に生きがいを持ち過ごすことができるよう、利用者様の自立を目標に、実際の生活場面に即したりハビリテーションを行っています。経験豊富な理学療法士3名・作業療法士1名が、それぞれの身体状況に応じた運動メニューを提供し、機能維持・回復・向上を目指していきます。



参加したご家族からも、「母がこんなにおいしい物を食べているとは思わなかつた」「ういう企画があるなら、また是非参加したい」「おいしかつた」等、嬉しいお言葉もたくさん頂きました。

今回初の試みでしたが、今後も継続して行つていきたと考えております。（次回は2月を予定しています。）



冬の感染症について

空気が乾燥した冬のシーズンは感染症に要注意です。

◎インフルエンザ

症状：38度以上の発熱（高齢者は微熱のこともあります）関節痛 倦怠感
かかってしまったら：48時間以内に抗インフルエンザウイルス薬の内服を開始すれば発熱期間短縮などの効果が期待できます。水分をしつかり取り安静にしましょう。

予防には：マスク着用 手洗い 流行前につクチン接種をしましょう。

◎ノロウイルス

症状：嘔気嘔吐 下痢 腹痛 発熱
かかってしまったら：下痢止めはウイルスを体内にじめることになるので服用しないでください。安静にして水分補給をします。

予防：手洗い、調理器具の消毒、嘔吐物、便の片づけはマスク手袋を使用し、床、物品などは次亜塩素酸ナトリウムを使って消毒します。定期的に換気をしましょう。



感染症の予防の基本は、免疫力を高めるために日頃からしっかりと栄養と睡眠を取ることです。少しでも体の不調を感じたら、早めに病院で診察してもらいましょう。

第18回さくら会まつり開催報告



令和元年1月3日（日）に、第18回さくら会まつりを開催しました。

オープニングセレモニーでは、前田理事長の挨拶の後、桑村副区長・渡辺区議会議長・懸田大井第一町会連合会副会長・増田大井水神町会会長より祝辞を頂き、スタートしました。



会場は、折り紙や押し花、書道など、ご利用者の作品展示の他、模擬店・バザー・縁日・お抹茶席・ステージ・ヨーヨーすべり等により全体が盛り上りました。

新旧理事の紹介

退任

松尾 光恵理事（鶴品川区民委員協議会会長）

就任

田尻 成樹理事（民生委員協議会大井第一地区委員長）

退任

宮平 寛評議員（前品川区医師会会長）

菅野 正博評議員（前原歯科医師会会長）

田尻 成樹評議員（民生委員協議会大井第一地区委員長）

新旧評議員の紹介

連載NO.13

大井林町高齢者住宅

相談員 折原 郁子

Q1：仕事の内容

高齢者住宅には、90戸102名の方が生活をされています。生活する中でお身体の状態による不安の相談や、必要な機関の紹介等、健康新しい生活が送れるように努めています。

Q2：専門職として心掛けていること

笑顔で元気な挨拶をし、天気の事・お身体の事等伺うように、心掛けています。

Q3：ご利用者、読者に向けてメッセージ

住宅では、職員とお住いの方たちとの食事企画、季節の飾りつけやお住いの方たちで行っている健康麻雀、囲碁、将棋、カラオケ等楽しく交流を深めています。

鮫洲駅から徒歩5分、緑に囲まれた住宅にお立ち寄り下さい。

東京都功労者表彰



令和元年10月1日（都民の日）、前田理事長が東京都功労者表彰を受彰しました。



次回7月号は「介護職」
芝崎 ひとみさんの登場です！

さくら会だよりの感想をお聞かせ下さい。

〒140-0013 品川区南大井5-19-1

社会福祉法人さくら会 編集委員会 宛

次回の発行予定は、令和2年7月です。